

武田薬品工業株式会社との追加ライセンス契約締結のお知らせ

2025年3月13日

レナセラピューティクス株式会社

代表取締役社長 登利屋修一

レナセラピューティクス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：登利屋修一、以下「レナセラピューティクス」）は、武田薬品工業株式会社（以下、「武田薬品工業」）との間で、ヘテロ2本鎖核酸（Hetero Duplex Oligonucleotide、以下「HDO」という。）技術の創薬への利用に係る追加ライセンスを非独占的に実施許諾することに合意しましたので、お知らせいたします。

本ライセンス契約の締結に伴い、レナセラピューティクスは契約一時金を受け取るほか、HDO 技術により創製された化合物について設定されたマイルストーンフィーおよび上市後の売上高に応じたロイヤリティを受け取ります。

【レナセラピューティクスについて】

レナセラピューティクスは、東京科学大学の横田隆徳教授らが発明した HDO 技術をコア技術として、核酸医薬品開発における基盤技術を提供する会社です。

核酸医薬は、これまで有効な治療薬がなかった疾患に対する治療薬として期待されています。しかしながら、疾患部への送達の困難性、副作用、投与後の血中安定性等の課題が認識されています。HDO 技術は、これらの核酸医薬の課題を克服する革新的な技術として、期待できるものです。

HDO 技術は、標的 mRNA に結合し、RNase H 依存性アンチセンス効果若しくは RNase H 非依存性アンチセンス効果を発揮するアンチセンス鎖（DNA、Gapmer、mixmer、PMO など）と、それと相補的な RNA からなるキャリアー鎖を組み合わせた構造を取ります。キャリアー鎖には多様なリガンドを結合することが可能であり、このような構造にすることで、デリバリーの向上等を図り、上述の課題を解決します。

アンチセンス鎖

Oligonucleotide

キャリア鎖

RNA

Ligand

特定の遺伝子を制御して治療する核酸医薬には、アンチセンス核酸（Antisense Oligonucleotide、以下、ASO）、siRNA（small interfering RNA）がありますが、HDO はこれら ASO、siRNA といった核酸医薬プラットフォームとは異なる新しい分子構造・作用機序を有する第3の核酸医薬プラットフォームです。

レナセラピューティクスは、第3の核酸医薬プラットフォーム技術を確立し、癌や神経変性疾患、遺伝性疾患などの難病をはじめとしたアンメットメディカルニーズに対する、新しい核酸医薬品の創製に貢献することを目指して参ります。

レナセラピューティクス株式会社の概要

設立：2015年1月（2019年11月に日本触媒グループに参画）

資本金：100百万円

代表者：代表取締役社長 登利屋 修一

所在地：東京都千代田区大手町 1-9-2

事業内容：核酸医薬にかかる創薬基盤技術の提供

会社 HP：<https://www.renatherapeutics.com/>

【本件に関するお問合せ先】

レナセラピューティクス株式会社 管理部 中原貴子

TEL : 03-4243-6081

お問合せ : info@renatherapeutics.com